

ロール巻きスタックポリシートの効果確認試験

JA標津

合同会社グラスONE



展開前の写真



使用している際の写真

試験目的

新規スタックポリシート(ロール品)の使用試験

試験作物 及び品種

牧草サイレージ

試験資材 及び数量(規格)

スタックポリシート(3層)(0.15mm×15m×52m) 2本(ロール)
ホクレン包材(株)

慣行資材

スタックポリシート(3層)(0.15mm×15m×50m)(たたみ)
ホクレン包材(株)

資材使用期間

6月26日～9月30日



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

たたみの場合、人力での展張であるため最大4人必要だったが、ロールの場合、リフトを利用した展張が可能のため1人で作業できるようになった。そのため、作業時間についても短縮化をはかることができた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

2年連続で当資材を使用したけど、サイレージ品質への影響は慣行資材と変わらず問題なかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 慣行のたたみ加工品よりも加工費用がかからないため、安価となっている。作業性が良く効率化につながっている。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

現行品と同様に問題なく使用できた。

モニター感想

(当社 場長 小野様)

たたみと比べて作業に要する人数が減少し、他の作業にあてることができている。また、強度についても問題がないと考える。

JA担当者の感想(標津町農協 資材生活課 鎌田主任)

TMRセンターは、安価で作業性の高いシートを求めている。当資材のモニター試験を2か年実施し、作業性の向上が図られ、センターから評価をもらっている。その結果、商系の販売攻勢がある中、取扱いを維持することができた。今後も現場ニーズに適した商品の開発に努めてほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 梨地フィルム

2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 遮光ネット

6 防草シート

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他